



## 平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月31日

上場会社名 全日本空輸株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部  
 コード番号 9202 URL <http://www.ana.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山元 峯生  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 久松 完 TEL (03)6735-1001

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

#### (1) 連結経営成績

%表示は対前年同四半期増減率

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	349,619	(1.3)	13,220	(△32.3)	6,810	(△53.0)	87,379	(1037.2)
19年3月期第1四半期	345,222	(10.5)	19,534	(66.1)	14,485	(132.8)	7,684	(255.7)
19年3月期	1,489,658		92,190		62,574		32,658	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第1四半期	44	86	—	
19年3月期第1四半期	3	95	—	
19年3月期	16	77	—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第1四半期	1,701,083		509,623		29.5	257	71	
19年3月期第1四半期	1,631,775		384,206		23.1	193	68	
19年3月期	1,602,091		405,912		24.9	204	42	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第1四半期	31,036		203,058		△84,140		322,300	
19年3月期第1四半期	17,358		△49,892		△34,930		175,222	
19年3月期	158,714		△128,298		△100,897		172,274	

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
19年3月期第1四半期	—
20年3月期第1四半期	—

## 3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

連結業績予想の見直しは現時点では行っておりません。

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の概況（平成19年4月1日～平成19年6月30日）

わが国経済は、好調な企業収益を背景に設備投資も概ね堅調に推移するとともに、雇用情勢も改善が広がり、個人消費は緩やかに回復を続けております。一方で、引き続き原油価格が高水準であり、先行きに関しては依然として楽観できない状況にあります。

このような事業環境において、航空需要は総じて安定して推移しましたが、競合路線における競争環境は一層熾烈化しており、当社グループは、ネットワーク拡大と需要喚起による増収、効率的な運航体制の推進によるコスト競争力強化を図り、継続して収益の確保と財務体質の強化に取り組んで参りました。その結果、当四半期におきまして、ホテル事業資産譲渡に伴うホテル事業収入の減収がありましたが、売上高は前年同期を上回り3,496億円（前年同期比43億円の増収）を確保しました。また、営業利益は132億円（前年同期比63億円の減益）、経常利益は68億円（同76億円の減益）、四半期純利益は873億円（同796億円の増益）となりました。

事業別の業績の概況は以下のとおりです（なお、各事業における売上高はセグメント間内部売上高を含んでおります）。

#### 【航空運送事業】

国内線旅客事業においては、主要路線における競争環境は一層激化し、国内線全体で旅客数は前年同期比96.9%となりましたが、4月の運賃改定と需要に応じた座席販売管理を更に推進した結果、国内線旅客収入は23億円の増収となりました。

国際線旅客事業は、前期よりネットワークを拡充してきた北米路線及びアジア路線の旺盛なビジネス需要を中心に好調に推移し、旅客数及び旅客単価とも向上しました。また、中国路線においてもビジネス需要及び旅行需要が堅調であり、旅客数は前年同期を上回りました。その結果、旅客数は前年同期比105.6%となり、国際線旅客収入は113億円の増収となりました。

貨物事業は、国内線においては新規参入による競争が激化した中でも輸送量は前年より上回りました。国際線においては、貨物専用機を増機し、また5月より米国航空会社「ABX Air社」への運航委託の開始により路線基盤を拡大し、輸送量の取り込みに努めました。その結果、国内線貨物収入は微増、国際線貨物収入は28億円の増収となりました。

ネットワークを拡大している中、原油価格が引き続き高位安定しているため、燃油費および燃料税は前年同期に比べて111億円増加しており、減価償却費や販売関連費用も増加しました。以上の結果、航空運送事業は売上高3,059億円（前年同期比181億円の増収）となり、営業利益121億円（同52億円の減益）となりました。

#### 【旅行事業】

旅行事業は、旅行ニーズを的確に捉えた商品を造成、販売した結果、売上高は前年同期比15億円の増収となり、営業利益は1億円（前年同期比1億円の減益）となりました。

#### 【その他の事業】

その他の事業は、商社販売収入を中心に概ね好調に推移し、売上高は前年同期比18億円の増収となり、営業利益は9億円（前年同期比3億円の増益）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部は、平成19年6月1日におけるホテル事業資産の譲渡に伴い、「現預金及び有価証券」が大きく増加したことなどから、流動資産は前期末に比べて1,793億円増加しました。一方で、土地、建物等のホテル事業資産の減少等により、固定資産は801億円減少しました。これらの結果、総資産は前期末に比べて989億円増加し、1兆7,010億円となりました。

負債の部は、負債合計では前期末に比べて47億円減少しています。なお、期末の有利子負債残高（短期借入金、長期借入金、社債の合計）は、前期末に比べて781億円減少し、6,713億円となりました。

純資産の部は、四半期純利益の計上による増加と配当金の支払いの結果、利益剰余金が前期末に比べて815億円増加しました。また繰延ヘッジ損益が191億円増加したことなどから、純資産合計は5,096億円（前期末比1,037億円の増加）となりました。この結果、自己資本比率は29.5%になり、財務体質の一層の改善を図りました。

当第1四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益に減価償却費および債権債務の増減などを加減算した結果、310億円となっています。

投資活動によるキャッシュ・フローは主としてホテル事業資産譲渡による収入により、2,030億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の調達、返済、社債の償還、配当金の支払いなどにより841億円の支出となり、当第1四半期末における現金及び現金同等物の期末残高は平成19年3月期末に比べて1,500億円増加し3,223億円となりました。

## 3. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

- ・該当事項はありません。なお、平成19年6月1日に当社グループ直営ホテルに関し、当社が保有する関連子会社14社の全株式等の譲渡を行ったことにより、連結範囲から除外しております。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

- ・金融商品の減損処理は、原則実施していません。
- ・税金費用の計上にあたっては、法定実効税率または最近連結会計年度の実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。また、連結納税制度の適用に伴う税金費用の計上にあたり、一部簡便な方法を採用しております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

- ・該当事項はありません。

以上

## 4. (要約) 四半期連結財務諸表

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	平成18年度 第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	平成19年度 第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	増 減
I. 営業収入	345,222	349,619	4,397
II. 事業費	260,854	267,932	7,078
III. 販売費及び一般管理費	64,834	68,467	3,633
営 業 利 益	19,534	13,220	△ 6,314
IV. 営業外収益	1,793	2,925	1,132
1. 受取利息	254	745	491
2. その他	1,539	2,180	641
V. 営業外費用	6,842	9,335	2,493
1. 支払利息	3,915	3,535	△ 380
2. その他	2,927	5,800	2,873
経 常 利 益	14,485	6,810	△ 7,675
VI. 特別利益	34	134,752	134,718
1. 固定資産売却益	—	910	910
2. 投資有価証券売却益	—	828	828
3. ホテル事業資産譲渡益	—	132,996	132,996
4. その他	34	18	△ 16
VII. 特別損失	1,031	2,390	1,359
1. 固定資産売却損	—	310	310
2. 固定資産除却損	35	—	△ 35
3. その他	996	2,080	1,084
税金等調整前四半期純利益	13,488	139,172	125,684
税金費用	5,686	51,490	45,804
少数株主損益	118	303	185
四 半 期 純 利 益	7,684	87,379	79,695

## (2) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	平成18年度 平成19年3月31日	平成19年度 第1四半期 平成19年6月30日	増 減
<b>【資産の部】</b>			
流動資産	422,048	601,375	179,327
現預金及び有価証券	172,992	335,957	162,965
営業未収入金	123,288	121,565	△ 1,723
たな卸資産	60,736	65,185	4,449
その他	65,032	78,668	13,636
固定資産	1,179,535	1,099,403	△ 80,132
有形固定資産	969,810	882,212	△ 87,598
無形固定資産	43,022	41,265	△ 1,757
投資その他の資産	166,703	175,926	9,223
繰延資産	508	305	△ 203
資 産 合 計	1,602,091	1,701,083	98,992
<b>【負債の部】</b>			
流動負債	473,034	469,003	△ 4,031
支払手形及び営業未払金	198,988	199,749	761
短期借入金、一年以内に償還する社債 及び一年以内に返済する長期借入金	158,724	77,679	△ 81,045
その他	115,322	191,575	76,253
固定負債	723,145	722,457	△ 688
社債及び長期借入金	590,722	593,652	2,930
退職給付引当金	112,606	111,946	△ 660
その他	19,817	16,859	△ 2,958
負 債 合 計	1,196,179	1,191,460	△ 4,719
<b>【純資産の部】</b>			
株主資本	364,545	446,029	81,484
資本金	160,001	160,001	—
資本剰余金	125,739	125,741	2
利益剰余金	79,530	161,065	81,535
自己株式	△ 725	△ 778	△ 53
評価・換算差額等	33,678	55,976	22,298
その他有価証券評価差額金	10,885	13,911	3,026
繰延ヘッジ損益	23,155	42,289	19,134
為替換算調整勘定	△ 362	△ 224	138
少数株主持分	7,689	7,618	△ 71
純 資 産 合 計	405,912	509,623	103,711
負 債 、 純 資 産 合 計	1,602,091	1,701,083	98,992

## (3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	平成18年度 第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	平成19年度 第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,488	139,172
減価償却費	18,821	21,985
その他	△ 14,951	△ 130,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,358	31,036
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産取得による支出	△ 65,676	△ 65,047
有形固定資産売却による収入	23,295	25,343
無形固定資産取得による支出	△ 3,373	△ 2,444
その他	△ 4,138	245,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 49,892	203,058
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減 (減少：△)	△ 2,771	2,700
長期借入による収入	27,878	30,000
長期借入返済による支出	△ 24,096	△ 66,150
社債償還による支出	△ 30,000	△ 45,000
配当金の支払額	△ 5,842	△ 5,844
その他	△ 99	154
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,930	△ 84,140
IV. 現金及び現金同等物の換算差額	△ 99	72
V. 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△ 67,563	150,026
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	242,785	172,274
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	175,222	322,300

## (4) セグメント情報

平成18年度第1四半期 (平成18年4月1日～平成18年6月30日)

(単位: 百万円)

	航空運送事業	旅行事業	ホテル事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	262,475	40,641	14,290	27,816	345,222	-	345,222
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,373	4,528	1,946	18,102	49,949	( 49,949)	-
計	287,848	45,169	16,236	45,918	395,171	( 49,949)	345,222
営 業 費 用	270,428	44,788	15,141	45,266	375,623	( 49,935)	325,688
営 業 利 益	17,420	381	1,095	652	19,548	( 14)	19,534

平成19年度第1四半期 (平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(単位: 百万円)

	航空運送事業	旅行事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	278,276	42,047	29,296	349,619	-	349,619
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,696	4,630	18,495	50,821	( 50,821)	-
計	305,972	46,677	47,791	400,440	( 50,821)	349,619
営 業 費 用	293,781	46,493	46,834	387,108	( 50,709)	336,399
営 業 利 益	12,191	184	957	13,332	( 112)	13,220

(注) ホテル事業資産の譲渡に伴い、今年度より「ホテル事業」の記載を行っておりません。

## (5) 航空運送事業の売上高の内訳及び輸送実績

## 【売上高の内訳】

(単位：百万円)

区 分		事業年度	平成18年度 第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	平成19年度 第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	増 減
航空運送事業	国内線	旅客収入	167,379	169,768	2,389
		貨物収入	7,315	7,349	34
		郵便収入	2,162	1,866	△ 296
		手荷物収入	79	73	△ 6
		小 計	176,935	179,056	2,121
	国際線	旅客収入	65,081	76,390	11,309
		貨物収入	13,885	16,717	2,832
		郵便収入	782	959	177
		手荷物収入	133	129	△ 4
		小 計	79,881	94,195	14,314
	航空事業収入合計		256,816	273,251	16,435
	その他の収入		31,032	32,721	1,689
	合 計		287,848	305,972	18,124

(注) 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

## 【輸送実績】

区 分		事業年度	平成18年度 第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	平成19年度 第1四半期 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	前年同期比 (%)
国内線	旅客数(人)		11,106,843	10,757,105	96.9
	座席キロ(千席キロ)		15,269,575	15,475,663	101.3
	旅客キロ(千人キロ)		9,630,321	9,298,541	96.6
	利用率(%)		63.1	60.1	△ 3.0
	貨物輸送重量(トン)		107,689	108,071	100.4
	貨物輸送量(千トンキロ)		104,273	104,590	100.3
	郵便輸送重量(トン)		20,554	19,937	97.0
	郵便輸送量(千トンキロ)		22,213	20,733	93.3
国際線	旅客数(人)		1,091,636	1,153,190	105.6
	座席キロ(千席キロ)		6,456,989	7,023,275	108.8
	旅客キロ(千人キロ)		4,923,210	5,166,554	104.9
	利用率(%)		76.2	73.6	△ 2.6
	貨物輸送重量(トン)		61,516	77,678	126.3
	貨物輸送量(千トンキロ)		282,296	380,105	134.6
	郵便輸送重量(トン)		3,732	3,588	96.1
	郵便輸送量(千トンキロ)		16,186	16,822	103.9

- (注) 1. 国内線にはIBEXエアラインズ(株)、北海道国際航空(株)、スカイネットアジア航空(株)および当期より(株)スターフライヤーとのコードシェア便実績を含みます。  
2. 国際線にはユナイテッド航空(関西-ホノルル線)およびエバー航空とのコードシェア便実績を含みます。  
3. 国内線、国際線ともにチャーター便実績を除いております。  
4. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。